

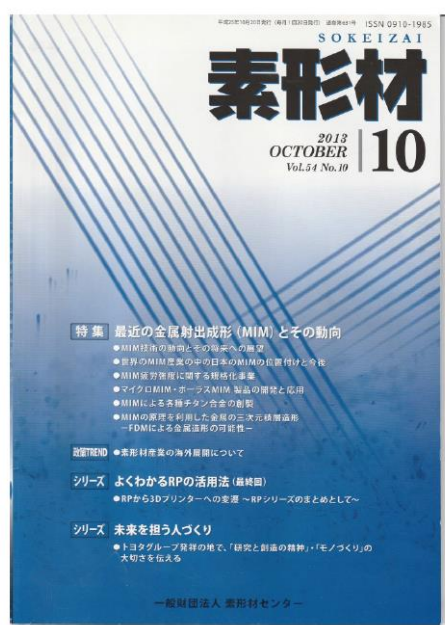
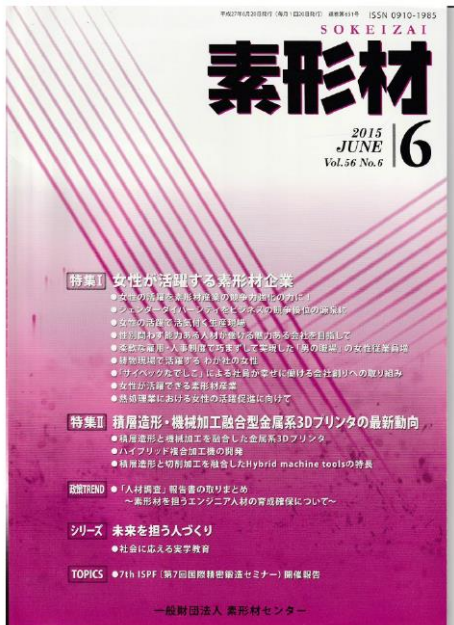
掲載のお知らせ

月刊誌『素形材』2020年6月号に、当社会長の鴫田（工博）が寄稿した「放電プラズマ焼結（SPS）法による金属粉末成形技術への応用」が掲載されます。内容は、SPSによる2D/3D ニヤネット/ネットシェーブ成形技術が中心になっております。

“素形材”とは、鋳造、鍛造、プレス、粉末冶金、射出成形法などによって素材に熱や力に加えられ、形が与えられた部品や部材を示します。素材としては、金属材料をはじめ木材、石材、窯材、ゴム、ガラス、プラスチックなどがあり、近年ではファインセラミックス、複合材料なども使われています。

“(一財)素形材センター”（会長：横川 浩氏）は、元の名称を「財団法人総合鋳物センター」と言い、更に2010年に(財)次世代金属・複合材料研究開発協会と合併し、現在では鋳造分野から塑性加工分野など幅広く素形材分野全体の技術普及と素形材産業の総合的な発展を推進しています。

(一財)素形材センター <http://www.sokeizai.or.jp/>



※本画像は左から2019年6月号、2016年6月号、2013年10月号の表紙です。